

財政資金対民間収支（令和6年7月中見込）

令和6年7月は、後期高齢者医療財政調整交付金の交付等がある一方で、夏季賞与に伴う源泉所得税等の受入があり、また、国債等が受入超過であることから、総収支戻は、8.8兆円の受入超過となる見込み（前年同月比3.8兆円の受入超過幅の減少）。

（主な受入日）
法人税、消費税等の租税、保険料の受入・・・3日
源泉所得税の受入・・・12日

（主な支払日）
国民健康保険療養給付費等負担金の支払等・・・3日
後期高齢者医療給付費等負担金の支払等・・・12日

●収支戻：総計8.8兆円の受入超過

（単位：億円）

区分	見込	前年同月	前年同月比	備考
(1) 一般会計	△ 17,050	8,325	△ 25,375	
租税	28,090	51,589	△ 23,499	源泉所得税等の受入
税外収入	1,990	2,930	△ 940	
社会保障費	△ 24,240	△ 23,786	△ 454	後期高齢者医療財政調整交付金の交付等
地方交付税交付金	1,290	1,207	83	
防衛関係費	△ 5,520	△ 4,116	△ 1,404	
公共事業費	△ 2,300	△ 2,403	103	
義務教育費	△ 950	△ 933	△ 17	
その他支払	△ 15,410	△ 16,164	754	国立大学法人運営費交付金の交付等
(2) 特別会計等	20,100	16,862	3,238	
財政投融资	△ 1,810	720	△ 2,530	
外国為替資金	-	△ 474	474	
保険	26,720	26,172	548	年金保険料等の受入
その他	△ 4,810	△ 9,556	4,746	
(3) 小計 (1+2)	3,050	25,187	△ 22,137	
(4) 国債等	108,110	121,419	△ 13,309	
国債（1年超）	107,950	121,418	△ 13,468	
借入金	160	0	160	
(5) 国庫短期証券等	△ 23,170	△ 19,404	△ 3,766	公募発行見込額 約33.5兆円
国庫短期証券	△ 23,170	△ 19,404	△ 3,766	内訳：3ヶ月 約5.5～5.6兆円×1回 約5.2～5.3兆円×4回 6ヶ月 約3.7～3.8兆円×1回 1年 約3.2兆円×1回
一時借入金	△ 0	0	△ 0	
(6) 小計 (4+5)	84,940	102,015	△ 17,075	
(7) 合計 (3+6)	87,990	127,202	△ 39,212	
(8) 調整項目	500	△ 902	1,402	
(9) 総計 (7+8)	88,490	126,300	△ 37,810	

- （注） 1. 国庫短期証券の公募発行見込額は、今後の国庫の資金繰りの状況等により変更となる場合がある。
2. 「見込」及び「前年同月」の△印は支払超過を示す。
3. 見込については、10億円単位でとりまとめている。
4. 前年同月については、億円未満を四捨五入しており、計において一致しない場合がある。

（参考） 1. 日本銀行が国庫短期証券売買オペによって取得した国庫短期証券のうち、償還期日が到来するものの償還額は次のとおりであり、これは対民間収支には計上されない（繰上償還額及び対政府等売却額は控除していない）。

日銀売買オペ分償還額	見込	前年同月	前年同月比
	7,300	5,597	1,703

2. 令和6年8月の国庫短期証券の公募発行見込額は次のとおりである。
3ヶ月 約4.2～6.2兆円×1回
約3.9～5.9兆円×3回
6ヶ月 約2.7～4.7兆円×1回
1年 約2.2～4.2兆円×1回